

歌でひろがる・ことばがわかる

— 在住外国人の日本語習熟のための新しい地域連携プロジェクト —

カンタ プロジェクト
CANTA PROJECT



群馬県大泉町 — 外国人人口比率**日本一**の町です。住民の**16%**が**外国人**。その中で一番多いのが、**日系ブラジル人**。街中にあふれるポルトガル語の看板、店舗、そして会話する人々。地域住民と在住外国人との結びつきは薄く、**生活圏は全く異なっている**。言葉の問題で、公立学校に適應できない子供達に通う学校の授業は、すべて**ポルトガル語**。毎日の生活の中で、言葉と生活習慣の違いにより、地域住民とさまざまな問題が起きている。この大泉町と隣接する太田市で、地域住民と外国人との**共生を実現する新しい形の仕組み作り**をめざすプロジェクトです。



ブラジル人学校で、①歌による日本語習熟 ②理解度の確認のための描画 ③日本の文化・風習・習慣等の理解、を目的とした授業を継続的に行う。地域住民には、①歌による日本語習熟を伝達する指導者養成のための、セミナー・交流事業の開催 ②連携するための**協力団体の拡大**を行う。習熟した日本語を **子供達→家族→ブラジルコミュニティ**へと広めてゆき、このプロジェクトへの関心を高めてゆく。



教材(本)・・・日本語の歌詞にポルトガル語の対訳を記載し、両国の子供達、知的障害者達の絵を掲載。内容・翻訳等を**両国のスタッフ**で協働して製作。教材(CD)・・・録音する歌い手を**公募**し、問題の認知度を高め参加者を拡大する。地域住民・両国の子供達で歌い、「**自分達でつくった教材**」という意識を高める。地域FM局（コミュニティ放送局）が録音し、**ブラジル人向け番組で放送**。自然に耳から日本語が入る環境をつくる。



ワークショップ・教材活用セミナー・交流事業・教材研究発表会などを定期的に行う。ブラジル人が積極的に日本語や日本の文化を理解している姿勢を**地域住民に認識**してもらう機会となる。教材及びCD製作等を太田市教育長に力強くリードしていただいたことにより、公共機関との連携もスムーズに運べる結果となる。

街並みで目にする看板、すれ違う外国人、お互いの存在は知っていても言葉をかわしたことはない。同じ地域で生活していても、生活圏はきちんと分かれている。英語は耳なじんだ言葉なのに、ポルトガル語はどうしてもなじめない。ずいぶん長い時間が過ぎているのに…。

言葉が少しでもわかれば、コミュニケーションはきつととれる。同じ地域に住んでいるのだから、これからは、**共に生きなければならない**。このプロジェクトの中のひとつひとつが、心が結ばれてゆくたくさんのすてきな出会いになった。そして、これからも**ことばが心をつないでゆく**…。